

年末例会のご案内

- 1 日時 2014年12月23日(火) 午後2時から4時30分ごろ
- 2 場所 しげい病院本館の5階かわせみホール
- 3 プログラム

(1) スライド映写 (12月19日までに希望された方)

今回も、会員の皆様に成果の発表をしていただこうと思います。ふるってご参加ください。パワーポイントの入ったノートパソコンは用意いたします。発表される方は、デジカメの画像やパワーポイント（バージョンは 97-2003 で保存した物）で作成したファイルをCDか USB メモリーに入れてご持参ください。また、発表は近況の報告も兼ねてお願いいたします。時間は10分以内厳守でお願いいたします。

(発表者が多ければ短くなるかもしれませんが) 希望される方は、12月19日(金)までに事務局まで、メールかファックスで「発表者名」「演題」「連絡先電話番号」をご連絡ください。 (kurakon@shigei.or.jp FAX. 086-421-1991)

(2) 近況報告 (スライド映写をしていない方)

今年1年を振り返って、一人一言ずつお話しください。また、全員に紙に書いていただいた内容は、次回のクラコンに掲載したいと思います。打ち直しますので、読みやすい字でお願いいたします。

(3) 自由懇談

・・時間の都合で短くなるかもしれません。標本などをお持ちよりください。

☆ 忘年会のご案内 ☆

例会の後、忘年会を下記のように計画致しました。忘年会のみの参加も歓迎致します。参加を希望されるお方は12月19日(金)までに倉敷昆虫館に必ずご連絡下さい。なお、当日急な参加は、ご遠慮ください。

場 所：「鳥好」(とりよし) (電話 086-424-4653) 倉敷市阿知3丁目 1-7 (倉敷駅前ロータリーの西側陸橋の南側から一番街に入り 20m 程進んだところ)

時 間： 17時30分～

参加費： 3500円 (飲み放題)

連絡先： メール：kurakon@shigei.or.jp (倉敷昆虫館) * 電話 086-422-8207

倉敷昆虫館だより

報告とお願い

11月末日で特別展「重井博の愛した自然・昆虫」の展示は終了します。

重井博先生採集の標本は展示から外し、そのあとに常設展示としてのチョウ目の標本を展示することになります。皆様からご寄贈いただいているチョウ類およびガ類は会員諸氏のご協力でほとんど同定が済みました。

創設以来 50 年余の歳月が経過しチョウやガの標本の退色は著しく、可能な限り所蔵している鮮やかな色彩の標本と入れ替えを行いたいと思っています。

つきましては、チョウ目に限らず新しい常設展示標本をぜひ見ていただき、誤同定や種名ラベルの付け間違い等々ご指摘いただけたらと思っています。

なお、当館の設立目標である「居ながらにして県内の昆虫が一望できる施設」に沿うべく、所蔵標本で県内産のものは、できるだけ展示することになっています。展示していない県内産の種をお持ちでご寄贈いただけるものがあれば頂戴し、展示に加えたいと考えていますので、よろしくご協力をお願いします。

・ ・ ・ ・ ・ 事務局だより ・ ・ ・ ・ ・

会誌「すずむし」バックナンバーの希望会員への頒布について

会誌「すずむし」バックナンバーの在庫は別表のとおりですが、事務局がある倉敷昆虫館の移転に伴い保管場所の確保が困難となりました。

これを機に在庫分を会員にのみ1冊100円（送料に充てる）で頒布することになりました。なお、「岡山県の昆虫（1978年）」（岡山県版）と「岡山県の昆虫（1978年）」（倉敷昆虫館版）もそれぞれ1部500円で分譲します。倉敷昆虫館版は岡山県版の再版で、一部に新たな知見が加わったものです。

- ①対象は現在会員で2014年度まで会費を納めている会員とする。
- ②一人につき各号1冊ずつとする。
- ③注文はメールまたは往復はがきで行う。
 - ・メールの場合は件名を「すずむしB注文」とする。
 - ・往復はがきの場合は返信に宛名および注文する「すずむし」の号数、「岡山の昆虫」は（岡山県版）、（倉敷昆虫同好会版）の別を記入したものとする。
- ④締め切りは2015年1月末日とする。
- ④注文数が在庫数を上回る場合は先着順とする。
- ⑤申し込みを締め切った段階でメールまたは返信はがきで送付する冊数をお知らせする。

⑥送付する冊数に応じて、振替にて振込送金する。

⑦納金の確認ができ次第送付する。

※各号の内容については同好会HPに載せている目次をご覧ください。

すずむし在庫一覧

巻(号)	通算号	発行年	在庫残	巻(号)	通算号	発行年	在庫残
9(1)	73	1959			111	1975	57
9(2)	74	1959	3		112	1976	55
9(3)	75	1959	5		113	1976	45
9(4)	76	1960	3		114	1977	46
10(1)	77	1960	12		115	1978	63
10(2/3/4)	78	1961	5		116	1979	69
11(1)	79	1961	6		117	1980	73
11(2)	80	1961	12		118	1982	46
11(3)	81	1962	7		119	1984	37
11(4)	82	1962	6		120	1985	43
12(1)	83	1962	35		121	1986	58
12(2)	84	1962	11		122	1987	49
12(3)	85	1962			123	1989	126
12(4)	86	1962			124	1990	89
13(1)	87	1963			125	1990	100
13(2)	88	1963			126	1991	119
13(3)	89	1963			127	1992	108
13(4)	90	1964			128	1994	100
14(1)	91	1964			129	1996	100
14(2)	92	1964			130	1996	103
14(3)	93	1965			131	1997	110
14(4)	94	1965			132	1997	108
15(1)	95	1965			133	1998	100
15(2)	96	1965			134	1999	93
15(3)	97	1965			135	2000	96
15(4)	98	1965	37		136	2001	82
16(1)	99	1966			137	2003	70
16(2/3/4)	100	1966			138	2004	90
	101	1968	23		139	2004	107
	102	1968	11		140	2005	102
	103	1969	84		141	2006	99

	104	1970	15		142	2007	108
	105	1970	5		143	2008	101
	106	1970	86		144	2009	80
	107	1971	107		145	2010	119
	108	1972			146	2011	124
	109	1973	19		147	2012	113
	110	1975	38				
岡山県の昆虫				1978	(倉敷昆虫館版)		77
岡山県の昆虫				1978	(岡山県版)		61

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内

◎特別陳列「新着資料展2014」

当館には現在、70万点もの標本資料が収蔵され、展示や調査研究などに活用されています。最近収蔵された新着資料を展示公開します。

◆会期：2014年9月20日(土)～12月27日(土)

◆会場：自然史博物館3階特別展示室

◆料金：通常料金(一般150円)

◆展示内容：河津一儀チョウ類コレクション、鈴木茂甲虫類コレクション、福田元信甲虫類コレクションなど

◎自然観察会「おかやま自然探訪43」

岡山県内の合併前の旧市町村をひとつひとつ訪ねるシリーズ観察会の第43弾です。今回は旧山手村へおじゃまして和霊神社までの道すがら岩石・植物・昆虫・動物などを観察します。里山の雰囲気を楽しめるコースです。

◆日時：2014年11月30日(日)10時～15時(受付9時30分～10時)

◆観察場所：総社市岡谷

◆集合場所：同上 国道429号水別交差点の北側の市有地

◆講師：自然史博物館学芸員

◆持参品：筆記用具、観察用具、昼食・飲料水、雨具、救急用品など

◆申込み：11月29日(土)17時までに電話・ファックス・ハガキ・電子申請(<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/event.htm>)などで自然史博物館へ。中学生以下の方は保護者同伴でご参加ください。

◆交通案内：今回は公共交通機関の便が良くないので自家用車などでご参加ください。集合場所の市有地をお借りしていますので、ここに駐車できます。

◆備考：雨天決行。ただし警報発令時などは中止します。天候があやしい場合は、当日朝8時以降に友の会携帯電話(090-8242-3896)までお問い合わせください。

◎「博物館のお宝探検(植物・昆虫コース)」参加者募集!

自然史博物館には、展示されていない標本を大切にしまっておく標本収蔵庫という特別な部屋があります。自由に立ち入ることはできませんが、数々の貴重なお宝を保管している部屋の見学をご希望の方は各担当までご予約ください。

(奥島雄一 倉敷市立自然史博物館)

メール：musoku@city.kurashiki.okayama.jp

<倉敷市立自然史博物館 >

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 TEL 086-425-6037 FAX 086-425-6038

日本甲虫学会第5回大会のご案内

日本甲虫学会第5回大会を次の要領で開催することになりました。学会員外のご参加も歓迎しますので、甲虫類や自然に興味をおもちの皆様には奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。なお、シンポジウム(1日目)および同定会(2日目)はどなたでも無料でご参加いただけます。高校生以下の方はその他の講演や分科会にも無料でご参加いただけます。

大会概要

会 場：倉敷市立自然史博物館・倉敷市立美術館(岡山県倉敷市中央2-6-1)

会 期：2014年11月22日(土)～23日(日)

主 催：日本甲虫学会 主管 日本甲虫学会第5回大会事務局(倉敷市立自然史博物館内)

共 催：倉敷市教育委員会・倉敷市立自然史博物館

後 援：倉敷市立自然史博物館友の会・倉敷昆虫同好会・岡山昆虫談話会

<大会日程>

第1日：11月22日(土)

大会受付開始 9:30～

一般講演(口頭発表) 11:45～12:15

O-1「アオバネサルハムシは1種か?」…末長晴輝(岡山県美作県民局)

O-2「安定同位体を用いた食材性コガネムシ上科の食性分析」(○三島達也(九大院・比文)・兵藤不二夫(岡大・異分野)・荒谷邦雄(九大院・比文))

総会 12:45～14:00

日本甲虫学会賞授与式・論文賞記念講演 14:00～14:30

論文賞受賞論文「Revision of the Genus *Allochotes* (Coleoptera, Cleridae) from Japan (日本産マルカッコウムシ属(コウチュウ目, カッコウムシ科)の分類学的再検討)」…村上広将(愛媛大・農・環境昆虫)

公開シンポジウム「甲虫類の知られざる生態—甲虫生態学最前線—」 14:30～16:45

趣旨：野外で甲虫を見つけるには、生息環境や出現時期、寄主などの生態に関する知識が不可欠である。私たち甲虫屋は、採集するための生態に関連した知識は豊富に持っていることは間違いない。しかし、一部のグループの甲虫を除けば、室内飼育を含め甲虫の生き様を詳しく観察する機会は意外と少な

いかかもしれない。今回のシンポジウムでは、行動を含めた甲虫の生態研究を行っている研究者をお招きし、最新の研究成果を発表していただくことにした。このシンポジウムを通じて、甲虫の生態の奥深さ・面白さを改めて考える機会にしたい。

コーディネーター 林 成多

S-1 「わかっているようでわかっていない!? ゲンジボタルの配偶行動」…川野敬介（下関教委）

S-2 「イモムシハンター・クロカタビロオサムシの得手不得手」…杉浦真治（神戸大院・農学）

S-3 「闘う、飛ぶ、それとも物陰に潜む? ヨツボシケシキスイのオスの巧みな戦術」…岡田賢祐（岡山大院・環境生命科学）

S-4 「アカマダラハナムグリは鳥の巣で育つ」…越山洋三（フィールドデータ・岡山県赤磐市）

・討論 「甲虫の生態研究は面白い」

懇親会 「倉敷ロイヤルアートホテル」（旧「ホテル日航倉敷」） 18:00 - 20:00

第2日：11月23日（日）

標本同定会（公開） 9:10 - 10:30

甲虫類標本の同定会を行います。ご所蔵の同定未解決の標本をお持ちよりください。なお、同定依頼する標本は必ずマウントされ、データラベル付きのものにしてください。これまでに申し出のあった同定協力分類群：ゴミムシ類、アトキリゴミムシ類、エンマムシ科、ハネカクシ科、アリヅカムシ亜科、ガムシ科、ヒメドロムシ科、水生甲虫、タマムシ科、コメツキムシ科、コメツキダマシ科、ベニボタル科、ジョウカイボン科、ナガシクイムシ科、ケシキスイ科、アカハネムシ科、ヒラタムシ上科、ハナノミ科、カミキリムシ科、トゲハムシ類、カメノコハムシ類、ハムシ科、チョッキリゾウムシ科、ゾウムシ類、ハサミムシ目（特別協力）。

ポスター発表 9:10 - 10:30

P-1 「岡山県におけるヒラズゲンセイ（ツチハンミョウ科）の分布拡大」…○奥島雄一（倉敷自然史博）・小橋理絵子（倉敷自然史博友の会）・神田佐奈恵（倉敷自然史博）

P-2 「九州大学伊都キャンパス生物多様性保全ゾーンにおける 2012 年度実習ピットフォールトラップ調査～甲虫類～（予報）」…○細谷忠嗣（九大決断セ）・三島達也・吉澤聡史（九大院比文）・井手竜也（森林総研）・會津光博・藤井智久・Gabriel Alonzo Carreira・加藤啓祐（九大院比文）・和智仲是（JT 生命誌）・浦志知恵・田口大輔（九大院比文）・高木大司（福岡大理）・鈴木大（九大決断セ）・石川善朗（福岡大理）・館卓司（九大院比文）

P-3 「インドネシア・スラウェシ産好白蟻性デオキノコムシ類（ハネカクシ科、デオキノコムシ亜科）」…○小川 遼・前藤 薫（神戸大院・農・昆虫）

P-4 「日本産ヒメクモゾウムシ族の属分類」…○藤澤侑典・小島弘昭（東農大・農・昆虫）

P-5 「クリイロカッコウムシ属（カッコウムシ科）の分類学的再検討」…村上広将（愛媛大・環境昆虫研）

P-6 「大阪市 24 区の甲虫相とその変遷」…○初宿成彦（大阪市自然史博）・安井通宏（大阪市阿倍野区）・伊藤建夫（京都府八幡市）・富永修（奈良市）・三宅規子（大阪府泉大津市）・市川顕彦（大阪市大正区）・河合正人（大阪市天王寺区）・大阪市立自然史博物館「都市の自然」調査グループ甲虫班

P-7「ジョウカイモドキの交尾器内袋—イソジョウカイモドキ属での観察」…吉富博之（愛媛大学ミュージアム）

P-8「カメノコハムシ亜科成虫の外部形態は特異的捕食者に対して機能するか？」…○篠原忠・高見泰興（神戸大・人間発達環境）

一般講演（口頭発表） 10：30－12：15，13：00－15：45

O-3「ダンダラテントウの分布北上と分布を規定する気候要因」…○河上康子（大阪市博・外来研）・山崎一夫（大阪市環科研）・大橋和典（豊中市）

O-4「スラウェシとイリアンジャヤのパプアカミキリの新知見」… R. Hartono（Bantimurung 昆虫研）・○斉藤秀生（一財・自然研）

O-5「ムネアカセンチコガネは地下生菌類を食べる」…○日暮卓志（八街市）・棚橋薫彦（産総研）

O-6「西表島で採集された日本初記録科となるガムシ上科 Spercheidae 科の1種」…○北野忠（東海大学教養学部）・河野裕美（東海大学沖縄地域研究センター）・多比良嘉晃（静岡市）

O-7「ホンシュウオオイチモンジシマゲンゴロウの蛹室造成に関する知見」…○棚本良介・齊木康太・北野忠（東海大学教養学部）

O-8「日本産タマキスイ科（コウチュウ目）の分類・生態的知見について」…久松定智（愛媛大・農・農生態学研究室）

昼休憩

O-9「インドネシアから *Phanodesta* 属（コクヌスト科）の発見」…吉富博之（愛媛大学ミュージアム）

O-10「小笠原諸島・伊豆諸島のアリヅカムシ相に関する新知見」…野村周平（国立科博）・亀澤洋（川越市）

O-11「香川県におけるヒラズイソアリヅカムシの分布と生息環境」…○滝朋子（香川県東かがわ市）・藤本博文（香川県宇多津町）

O-12「小笠原産オオマルシバンムシ属の1新種（コウチュウ目，ヒョウホンムシ科）」…○惣中光太郎（愛媛大学院）・酒井雅博（東温市）

O-13「日本産ルリクワガタ属共生酵母のキシロース発酵能および温度適応」…○渡邊花奈（東大院農）・棚橋薫彦（産総研）・深津武馬（産総研）・久保田耕平（東大院農）

O-14「ユキグニコルリクワガタの共生酵母の取り込みと産卵行動」…渡邊花奈（東大院農）・○久保田耕平（東大院農）・棚橋薫彦（産総研）

O-15「甲虫分類学者は名古屋議定書にどう対処すべきか？」…荒谷邦雄（九大・院・比文）

O-16「日本産コガシラミズムシ科の分類学的再検討」…岩田朋文（愛媛大・農・環境昆虫研）

O-17「津波前後の東北太平洋岸におけるケンガムシ属種構成の変化」…○稲荷尚記（北大総博）・小林憲生（埼県大・共通教育）・大原昌宏（北大総博）

O-18「北米西海岸の海浜性甲虫相について」…○大原昌宏（北大総博）・稲荷尚記（北大総博）・小林憲生（埼県大・共通教育）

O-19「環太平洋北部の海浜性ケンガムシ属の分子系統」…○小林憲生（埼県大・共通教育）・稲荷尚記（北大総博）・大原昌宏（北大総博）

分科会

16：00－17：00

水生甲虫分科会「ひと、輝くむし 媛泥。」（世話人：林成多・吉富博之）

D-1 「アシナガミゾドロムシ長翅型の出現率の変動と飛翔能力の検討」…林成多（ホシザキグリーン財団）

D-2 「脚長 *Ancyronyx* 属の採り方と分類学的位置」…吉富博之（愛媛大学ミュージアム）

D-3 「海外のヒメドロムシ事情」…小川 直記（北海道大学農学院 昆虫体系学研究室）
雑甲虫分科会（世話人：生川展行）

D-4 「コメツキダマシのはなし～地味なコメツキダマシが結構おもしろい～」…鈴木互（法政二高）
ゾウムシ分科会（世話人：的場績）

D-5 「*Lacnaeus crinitus* の分布と発生生態について」…佐藤隆志（JWIN）

D-6 「昨年東京農大の調査で発見されイクビチョッキリの分類についての検討」…伊澤和義（多治見市）

D-7 「愛知県産ゾウムシ類の DNA バーコードライブラリーの構築に参加して」…井上品次（名古屋市）
ゴミムシ分科会（世話人：伊藤昇）

D-8 「大峰山系の自然と歩行虫科を中心とした虫たち」…伊藤昇（TTI 技術顧問）
ハネカクシ分科会（世話人：野村周平）

D-9 「*Anaclasiger* ネジレヒゲブトアリヅカムシ属の新たな展開」…○野村周平（国立科博）・丸山宗利（九州大学総合研究博物館）

カミキリ分科会（世話人：山迫淳介）

・台湾のカミキリについて…山迫淳介・大林延夫・新里達也

*時間は都合により変更する可能性があります。

参加費

・大会参加費 1,000 円，高校生以下は無料（ただし，要旨集実費）

・懇親会費 一般 7,000 円，同伴者・学生 5,000 円（懇親会の 11 月 19 日以降のお申込みはそれぞれ 3,000 円増し）

参加費は当日徴収しますが，本大会は事前申し込みが原則です。

参加申込み

できるだけ電子メールで次のように行ってください。トラブル防止のため，返信をご確認ください。メールでの申込みができない方は，事務局（担当：奥島）までファックスか郵便でお申込みください。

申込み先アドレス（奥島，ただし 9MB まで）：musoku@city.kurashiki.okayama.jp

〈大会・懇親会参加申込み〉

- 1) 氏名
- 2) 一般・学生の別
- 3) 所属名（名札に入れます）
- 4) 専門分野（名札に入れます）
- 5) 連絡先住所
- 6) 連絡先電話
- 7) メールアドレス
- 8) 懇親会参加の有無（同伴者の有無）
- 9) 予約宿泊施設名および宿泊日（倉敷市内のみ，補助金申請のためご協力お願いします）
- 10) 同定会講師の協力の有無

大会事務局

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1 倉敷市立自然史博物館

「日本甲虫学会第 5 回大会事務局」担当：奥島雄一

電話：086-425-6037 FAX：086-425-6038

奥島 e-mail: musoku@city.kurashiki.okayama.jp

【新入会員】

No.511 小橋理絵子
 No.512 佐桑 正浩
 No.513 宍戸 孝行

【住所変更】

No.483 瀬島翔馬
 No.463 中山祥一

【退 会】

No. 242 福田元信
 黒田祐一（逝去）

【2013 年度会計報告】

2013 年度会計を下記の通り報告します。（事務局）

収 入		支 出	
費 目	金額(円)	費 目	金額(円)
前年度繰越金	120,973	すずむし149号印刷代	233,100
会費	221,000	会誌, 連絡紙送料	22,548
		事務用品費	4,377
		連絡紙代	946
広告費 (すずむし149号)	50,000	次年度繰越金	131,002
計	391,973	計	391,973

【交 換 文 献】

(2014. 4. 17～2014. 11. 2 受付分)

Nature Study 60(4)～(10)	大阪市立自然史博物館友の会
ホシザキグリーン財団研究報告 (17)	ホシザキグリーン財団
ホシザキグリーン財団研究報告<特別号> (9),(10),(11)	"
与那国島(2012年)のトンボ相について Aeschna(49)別刷り	大阪昆虫同好会Crudeに替えて 桑原英夫・松本幸太郎
与那国島(2013年)のトンボ相の生態観察 と幼虫飼育Aeschna(50)別刷り	"
へりぐろ (35)	瀬戸内むしの会
誘蛾灯 (216),(217)	広島虫の会

広島虫の会会報	日本昆虫協会
比婆科学 (249),(250)	比婆科学教育振興会
TINEA 23(1)	日本蛾類学会
すかしぼ (61)	山陰むしの会
いずも虫だより(114)	"
駿河の昆虫 (245),(246)	静岡昆虫同好会
横須賀市博物館報 (61)	横須賀市自然文化博物館
横須賀市博物館研究報告(自然科学) (61)	"
横須賀市博物館資料集 (38)	"
佐賀の昆虫 (48)	佐賀昆虫同好会
佐賀むし通信 (265)~(268)	"
げんせい (90)	高知昆虫同好会
インセクト 65(1)	とちぎ昆虫愛好会
倉敷市市立自然史博物館報 (23)	倉敷市立自然史博物館
倉敷市市立自然史博物館研究報告 (29)	"
蛾類通信 (271)	日本蛾類学会
比婆科学 (249),(250)	比婆科学教育振興会

[寄 贈 文 献]

(2014. 4. 17~2014. 11. 2 受付分)

平成25年度ホシザキグリーン 環境修復プロジェクト報告書	ホシザキグリーン財団
蒜山高原の蛾類 ホシザキグリーン財団報告書(13) 別刷り	三宅誠治
ベニモンカラスジミの生息状況 倉敷自然史博物館研究報告(29)別刷り	三宅誠治
高梁川流域の蝶 高梁川(71)別刷り	三宅誠治
チョウの舞う自然 (18)	日本チョウ類保全協会
幻の青い鳥ブッポウソウ	倉敷市立自然史博物館

<倉敷昆虫同好会 連絡先> 年会費 2,000円 郵便振替口座 01210-2-6927
 〒710-0051 倉敷市幸町2-30 倉敷昆虫館内 倉敷昆虫同好会事務局
 TEL. 086-422-8207(直通) FAX. 086-421-1991 E-メール kurakon@shigei.or.jp
 開館：午前9時30分から午後5時まで (13:00から14:00は閉館)
 休館日：月曜日 (祝日・休日の場合は開館し、翌日が休館)、12月29日から1月3日